

Communication

中特グループ コミュニケーション

■中特グループ 〒745-0801 山口県周南市大字久米3078番地の1 ポータルハートデスク ☎0120-105-568 <http://www.chutoku-g.co.jp>
■2012年6月1日発行 中特グループ社内報「コミュニケーション」

Vol. 12



平成23年度スローガン 続『自ら立つ』

『冒頭あいさつ』

皆さん、こんにちは！

日頃より、それぞれの役割を全うして下さいまして、誠にありがとうございます。お陰さまで、これまで大きな事故もなく過ごさせて頂いております。

私はこの頃、特に、安心・安全という言葉が気になって仕方がありません。これほど当たり前に求められながらも確保することが難しいものはありません。

昨今では、歴史も古く、様々な対策を行っていると思われる大きな企業様の事故が多発しています。一体何故なのでしょう。原因は何なのでしょう。事故は偶然に起きたのでしょうか。たまたま不幸が重なったのでしょうか。

私は、そうではないと思います。やはり決められたことに手抜きがあったり、何か大事なことを見落としてしまったのではないのでしょうか。前回も大丈夫だったから、今回もきっと大丈夫なはずだと。

私たち人間は、決して完璧ではありません。けれども、より完璧に近いものを目指すことが使命であると思います。と同時に、「人は間違える」ことを前提とした仕組み作り、そして万が一事故が起きたとしても大事には至らない対策作りを必死に練る必要があるのです。

早いもので今年も半分が過ぎてしまいました。今期もまもなく終わりとなりますね。皆さん、今一度目標の再確認をして、やるべきことを一つ一つ確実に実行して参りましょう。



中特グループ
副代表 橋本ふくみ

「ポータルハートデスク 始動!!」



困ったことは
ないですか？

本年1月より、中特グループでは「ポータルハートデスク」を立ち上げ、活動をスタートしました。ポータルハートデスクは、お客様の“お困りごと”に対して、愛情を込めて心から対応するサービス窓口として、総務部内に開設したものです。

山口県は全国的に見ても特に高齢化の進んでいる地域。地域の中での助け合いや絆が一層求められる一方で、私達の社会は核家族化の進展やIT化の流れの中で、人と人とのつながりも希薄になりつつあります。そんな中、ポータルハートデスクを立ち上げたきっかけは、中山間地域で一人暮らしのご高齢のお客様の声からでした。

“いざ困りごとができた時にどこに聞いていいかわからない”“遺品整理をしてもらいたい”…地域に密着して仕事をさせて頂いている私達だからこそ、グループの総合力を結集して、お客様に安心してご利用いただくことができ、お役に立てるのではないか、そんな思いでお客様相談窓口「ポータルハートデスク」を設けました。

中特グループをご利用頂いているお客様にも、中山間地域にお住まいのご高齢の方々がたくさんいらっしゃいます。これまで、弊社社員が浄化槽維持管理等で訪問する際のお声掛けなどを積極的に行って参りましたが、ポータルハートデスクが皆様にとってさらに身近な存在になればと思います。

個人のお客様はもちろん、企業のお客様、お店や飲食店を経営されているお客様など、ご相談はどなたでもOK！もちろん、いままで中特グループとお取引のない方も大歓迎です。

排水管清掃やトイレの詰まり、引っ越しゴミの処分、遺品整理、その他何でも…従来からの専門分野もプロのサービスマンが、きっちり誠意をもって対応しますので、ポータルハートデスクまでまずはお電話ください。

ポータルハートデスクのシンボルマークが皆様の“ハート”に刻まれますように！

中国特殊(株) 総務部総務グループリーダー 久保 智



「社員紹介」

4月からエコ事業部からCS営業部に異動しました。

営業はとても奥深い業務だと実感をしています。まだ右も左も分かりませんが、今までのエコ事業部での業務経験も活かして、お客様に満足して頂けるよう一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

中国特殊(株) CS営業部CS営業グループ
主任 武居 浩



「橋本社長日想」

うんうん

自分で言うのも何ですが、私は非常に運が良い人間だと思っている。

運を良くするのは簡単なことだ。運の良い人と付き合っ
て運の悪い人とは付き合わないこと、ただそれだけで
良い。

運の悪い人とは、常に他人と比較して、例えば、「妬む」
「ひがむ」「恨む」「憎む」といった感情に支配されている
人をいう。

反対に、運の良い人は常に前向きだ。だから一緒に居
てとても楽しくなる。

運の良い人は運の良い人を惹きつけるし、運の悪い人
もまた運の悪い人で繋がっていく。自分の身を何処に
おくか、それだけで運命が変わる。とっても不思議。。

短所と長所

皆さんご存知のように、私にはたくさんの短所がある。

まず頭が悪いし顔もスタイルもいまいち、自分も未熟
でありながら他人に対する期待値がとても高いし、あが
り症なので無駄口は叩くが大勢の前で話すことが下手
くそである。他にもイライラすると表情に出るし、物忘
れは良いけど物覚えが悪かったりする。

そう、挙げればキリがないほどである。

反面、長所はというと、すぐには思いつかないほど少
なく、強いていえば何事も引きずらないところや自分の
恥ずかしい話もさらけ出すことが出来るところだろう
か。いや、これも合っているのかよくわからない。

人は、それぞれ短所と長所を併せ持っている。短所ば
かりの人間も長所ばかりの人間もこの世にはいない。
「完璧な人間」はあり得ないからだ。

ある時、恩師から、「短所は人間になければならないも
のだ。もしも短所というものがなかったら人は傲慢にな
ってしまう。謙虚さを保つためや他人への思いやりをも
つために必要なものなのです。」と教えられた。

そして、「誰にでもある長所を見つけ認め、伸ばすこと
で短所の割合を減らすのだ。そうすることで、短所が人
間味に変わるのです。」と言われた。

確かに、私たちが憧れるスポーツ選手や芸能人だって
みんな短所があるはずだ。

だけど、長所を努力で最大限に伸ばすことで短所が見
えないだけなのかもしれない。

だから、短所をなくす努力よりも長所を生かす努力を
した方が良くてことになる。

そんな気持ちで他人と接すると、何だか今までと違う
人に見えてくるから不思議なもんです。

群盲象を評す

近頃特に思うのは、《群盲象を評す》
という言葉だ。

象の全体像を知らない盲人の群れ
が、ある人は鼻先をたどり細長い動
物だと言い、ある人は背から腹まで
で大きく広々とした動物だと言い、
それを聞いた人にはどんな動物か伝
わらなかったというインド発祥の寓
話からきた諺である。

大きな存在のほんの一端だけを見
て、あれこれ言うだけでは、かなか
その全体像はとらえられないものだ
という深〜い意味がそこにある。

会社も同じ。

自分の日常業務だけを見て、あ
あだのこうだのと論ずる評論家が社
内にも多く存在するが、会社の全体
像をよく見て欲しい。

我が社では、『現実を見よう、外
を見よう、先を見よう』という合言
葉を毎朝唱和しているが、それは正
にこういう意味であることをよく理
解して、今日の行動に移して頂きたい。

よろしくお願いします！

ロスタイム

テレビで、タレントで放送作家だ
った前田武彦さんが生前、「もしも人
生にロスタイムがあったとしたら、
自分の場合、一体何年あるんだろう
ねえ」と言われてた。

人生のロスタイム、それはいつの
ことで時間はどれほどなのか。

私はまだ人生を振り返るには少し
早いけれど、考えさせられた深〜い
言葉だった。

むろん、人生無駄なことは何一つ
ないんだろうけど、「ご臨終で〜す。
え〜、この方のロスタイムは不満を
撒き散らして人に迷惑をかけてた3
年で〜す。」なんてことがあると思え
ば、これからの生き方が少し変わる
かもしれないよなあ。

廃棄物 法令レポート No.1

当グループ法務顧問
尾上雅典先生による廃棄物
法令にまつわるコラム連載
がスタートです！



中特グループの皆様、そして中特グループコミュニケーションをご覧の皆様はじめまして。

今回からコラムを担当させていただくことになりました尾上雅典(おのえ まさのり)です。ご縁をいただき、今年の2月から中特グループの法務顧問を務めさせていただいております。このコラムでは、実際に起こった事件などを題材として、皆様にとって密接な関わりのある廃棄物処理法のポイントを解説していきますので、よろしくお願いします。

第1回目は、愛媛県新居浜市の第三セクター「悠楽技」の不法投棄について取り上げたいと思います。悠楽技は、新居浜市長が社長を務める株式会社ですが、宿泊施設を運営しています。そして、宿泊施設から発生したテレビや蛍光灯などを、悠楽技の職員が山中に不法投棄し、不法投棄を指示した取締役を含めた4人が逮捕されました。悠楽技は、不法投棄をする前から経営赤字を抱えていたこともあり、今回の事件を契機に会社を清算することになりました。

自治体が出資する第三セクターが不法投棄をするというのも言語道断ですが、なぜこのような原始的な犯罪が起こってしまったのでしょうか？不法投棄の実行者や違法行為を指示した取締役が法律に対して無知だったから？それも確かにあると思われますが、より本質的な問題としては、誰のために不法投棄をしたのかということがあります。

会社のコスト削減のために不法投棄を実行したとすると、自分が楽をするためにやった行為ではなさそうに思えます。しかし、会社のコスト削減策としては、不法投棄する以外になかったのでしょうか？そんなことはありません。

厳しい見方かもしれませんが、「会社のため」「コスト削減のため」というのは単なる言い訳で、不法投棄は合法的なコスト削減策を考える努力を放棄した「自己保身」の結果、と言えなくもありません。

中特グループの皆さんにお願いしたいのは、このような他者の不祥事を「我が社では起こるはずがない」と無関係の出来事と思うのではなく、「なぜこんなことが起こったのか？」「どうすれば防止できるのか？」などと、自分の身に引き付けて考える習慣を作っていただくことです。それをするだけで、世界の見え方がガラッと変わることを保証します。このコラムを読み終わった瞬間から、是非始めてみてください。

「ゴミ収集車の絵を募集します」

●テーマ:環境保全に関すること
(海・山などなんでもOK)

●対象者:小学生

●募集期限:8/10まで

環境をテーマにした楽しい作品をお待ちしています。

詳しくは(株)吉本興業0834-25-0423まで



お客様紹介

当グループをいつもご利用いただいています大切なお客様のご紹介コーナーです

周南高原病院

事務長 藤本泰幸様



65歳以上の方が総人口に占める割合のことを高齢化率といい、7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」と定義されます。日本は高齢化率が2005年に初めて20%を超え、2015年には26%、2050年には35%に達すると予測されています。

医療法人緑山会と社会福祉法人周南北部福祉会は、高齢化と過疎化の進む周南市北部において、地域の皆様に最適な医療・介護・福祉サービスを提供出来るよう、グループ全体で取り組んでおります。

これまで、須々万地区の周南高原病院、特別養護老人ホーム友愛園、ケアハウス周南温泉、鹿野地区の鹿野博愛病院と特定施設悠久の里の5施設で包括的にサービスを提供してきました。現在の「超高齢社会」に対応すべく、現在、高齢者専用住宅と小規模多機能施設が一体化した複合施設を須々万地区に、認知症対応型施設（グループホーム）を下松市山田に開設準備しています。また、高齢化の進展とともに今後増加が見込まれる高齢者世帯や独居高齢者を支援していくため、居宅支援や在宅療養のサポート体制もグループ全体で強化しています。医療から介護へ、施設から在宅へと、切れ目のないサービスを提供し、皆様のニーズに的確に応え、地域の医療と福祉に貢献したいと考えています。いつまでも安心して生活できるよう、地域社会の医療・福祉のセーフティネットの確立を当グループの責務と考え、今後も職員全員で努力していく所存です。

「スマイルプロジェクト活動報告」

スマイルプロジェクトのスタートから約1年。
“中特グループみんなをスマイルにしたい、絆を深めたい”と無我夢中でした。

自分自身すべてが初めての取り組みで、プロジェクトメンバーはじめ、中特グループ社員にも、さまざまな場面で助けてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして改めて『ありがとうございます』

〈一人はみんなのために、みんなは一人のために〉

10年20年…と続くお客様や社員のためにも、素晴らしい会社にしたいです。

これからもスマイルプロジェクトをよろしく願いいたします。

企画広報室スマイルプロジェクト
リーダー 江本舞美



2012年 新年会



今年もゴーヤでグリーンカーテンをつくります



バーベQ



ツリー祭り清掃活動

「アーサー・ホーランド氏講演会を開催しました」

5月2日(水)19:00~21:00、弊社会議室にて、アーサー・ホーランド氏をお招きして講演会を開催しました。約40名の社員・市民のみなさんにご参加いただきました。

ホーランドさんは現在、40kgもの大きな十字架を背負って徒歩で日本列島縦断十字架行進をされている途中で、今年3月に沖縄を出発され、同9月に北海道宗谷岬到着を目指しておられます。ちょうど周南市を通過される情報を聞きつけ、講演会のお声掛けをしましたところ、快くお引き受けいただきました。

1951年大阪府生まれ。全米レスリング選手権チャンピオンを2回、パンアメリカン選手権大会銀メダル、全米柔道選手権3位という輝かしい成績をあげられた後、23歳で洗礼を受け、牧師に。その後伝道活動のため日本へ帰国。新宿歌舞伎町での伝道活動が話題となり、1992年には日本列島十字架行進を決行、40kgもの十字架を担いでそれを達成されました。韓国やアメリカでも同様のパフォーマンスを繰り広げておられます。著書に「不良牧師!『アーサー・ホーランド』という生き方」(文藝春秋)「1ミリだけ難しく生きよう!」(フォレスト出版)など他多数があります。

2時間の講演会でしたが、そのお話しぶりに会場全員が引き込まれ、あっという間に終わってしまいました。ご参加のみなさんそれぞれに、数々の心に留まる言葉があったようで、明日からの生きる活力を得ることができたように思います。まずは一歩踏み出すこと、そこでいろんな出会いがあり、世界が広がる…ホーランドさんの実体験を交えたお話はとても説得力があるものでした。私達グループもホーランドさんを見習って、これからもいろんな方々と出会い、今後様々なことにチャレンジして参ります。

中国特殊(株) 総務部総務グループリーダー 久保 智



「社員の趣味」

私には1年に一度、3日間だけ、心許せる友と寝食を共に出来る時間があります。

二十歳で二輪車の免許を取得し、それから30年、毎年恒例行事となっているバイクツーリングです。3人から始まったツーリングですが、今は7～8人と多少、多いかなと思う人数になっています。

所帯を構える前は、年に2,3度行っていました、今は年に1度、日頃の家族サービスのご褒美として、行かせてもらえます。

最初はスクーター(250cc)次に400ccと何台か乗り継ぎ、25歳の頃から将来は乗ると思っていたバイクを10年掛かりで購入し今に至っています。購入する前には友人から「重い、走らない、止まらない、よく壊れる」と言われたバイクですが、なぜだか私にとっては魅力的で購入を決意しました。

3日間という限られた時間の中、往復1000km前後の走行距離なので九州、四国、鳥取、兵庫あたりまでが限度です。天候や道路状況、バイクの調子などで、走りながらの目的地変更はよくあります。そのため、宿屋・食事等の予約は出来ず、テントと寝袋・鍋・ガスコンロ持参になります。今や手作りの食事とても豪華になりました。

最近やっと自分のバイクにも慣れてきましたが、年々体力的にはきついものがあります。あと何年走ることが出来るか分かりませんが、家計と体力が許す限り、そして家族の理解がある限りこれからも走りたいと思います。とりあえず友とあと10年…。

中国特殊(株) エコ事業部eクリーニンググループ
主任 野村聖治



「赤ちゃん誕生」

「午前8時19分に元気な女の子が生まれました。」

その連絡は私が作業をしているときに入りました。

仕事を終えて急いで病院に向かうと、真っ赤な顔した赤ちゃんが待っていました。

もうじき2歳になる息子は「にゃんにゃん」と娘を指差し私を娘のもとに導いてくれました。どうやら娘の泣き方がそう聞こえるみたいで、今でも妹のことをそう呼びます。女の子はおとなしく夜泣きも全くありません。逆にママを取られた息子のほうが甘えてきます。日々いろいろなことがあります、毎朝妻と息子と娘が見送ってくれることが、今の私の幸せです。

(株)吉本興業 環境事業部サービスグループ
大場一貴



3月28日に
生まれました!



どうぞ
よろしくね!

「新入社員紹介」



(株)吉本興業の営業担当として入社し、あっという間に三ヶ月が経ちました。

地域の住みやすい環境づくりをお手伝いするだけでなく、企業の環境方針を適正な方法でバックアップするという非常に責任の重たい業種だと痛感しております。しかし、指導下さる先輩方々は難題を前向きにクリアして行こうとする姿を見せてくれます。その姿を見るにつけ中特グループに入社出来たことを誇りに思います。

(株)吉本興業 環境事業部サービスグループ
営業担当 横田朋之



この度(株)リライフの営業担当として入社しました。東京でカラオケ店の店長を経験して、昨年夏に山口に来ました。今までの経験を活かせるところは活かしつつ、足りない部分は勉強します。今はグループ各事業部で現場実習を経験しているところで、皆さんが親切にして下さるので徐々に環境にも慣れてきました。これからお客様のお役に立てるよう、知識と経験を積んでいきますので、ご指導の程お願い致します。

(株)リライフ リサイクル事業部
営業担当 上原康宏



一月より入社いたしました、福永です。環境事業部お客様サービス係として、一般廃棄物を中心に担当し、各事業所に訪問させていただいております。中学二年生と小学四年生の息子達に心配されながらも、毎日の仕事に励んでいます。

お仕事をさせていただく上で私の大事にしていることは、「私らしさ」です。型にはまった人格では、お客様の心に留まるお話しは出来ないと考えからです。お客様とのコミュニケーションを大事にし、長いお付き合いをさせていただけるよう努めます。

プライベートな側面としては、歴史(幕末期)、楽器演奏(エレクトーン、篠笛、琴など)、カラオケ、愛車で旅行、スポーツ観戦(バスケットなど)、イラストと、大変多趣味です。皆さまと、是非様々な分野についてお話しさせていただきたいです。これからも、福永千恵をよろしくお願い致します。

(株)吉本興業 環境事業部サービスグループ
お客様サービス係 福永千恵



四月に入社した廣中です。入社して日が浅いこともあり、不安や心配事が数多くありました。しかし、親切で気さくな先輩方のおかげで職場の雰囲気にも少しずつ慣れてきました。現在は研修中ということで、現場で多くの事を経験させて頂いています。日常生活では知れない廃棄物の処理を目の当たりにし、日々驚きが絶えません。今はまだ至らない部分が多々ありますが、今後ともより多くの事を経験し、早く一人前として戦力になれるよう努めていきますのでご指導の程宜しくお願いします。

中国特殊(株) 総務部総務グループ
廣中秀光

編集後記

社内報Vol.12。今回も無事発行することができました。

原稿を快く引き受けてくださった皆様、本当にありがとうございました。これからどんどん気温の高い季節になります。作業中の熱中症には十分に気をつけて、暑さに負けぬよう日々頑張っていきましょう！(相本)